

CASBEE-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジュンテンドー北栄店	階数	地上1階
建設地	鳥取県東伯郡北栄町西園字大法36	構造	S造
用途地域	都市計画内無指定	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,368時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2017年1月30日
敷地面積	9,413 m ²	作成者	金藤郁雄
建築面積	3,416 m ²	確認日	2017年1月31日
延床面積	3,416 m ²	確認者	金藤郁雄

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 72%</p> <p>③上記+②以外の 72%</p> <p>④上記+ 72%</p> <p>0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Qのスコア = 2.6		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8
LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 建物の高さは出来るだけ低くし、また地方道倉吉由良線より建物を遠ざけて配置することにより、周りの環境や交通の妨げにならないように計画した。</p>		
Q1 室内環境 建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の90%以上の面積)に採用している。	Q2 サービス性能 売場の天井高3.6m以上あり、また維持管理に配慮した設計において、取り組みにおいて該当する項目数が6項目ある。	Q3 室外環境(敷地内) 換気設備の重要度に応じてシステムを区分し、災害時には重要度の高いシステムを優先的に運転するほか、負荷容量を下げた運転も可能となるよう検討している。また地震時の部分的被害が全体機能の停止を引き起こさないよ
LR1 エネルギー モデル建物法[BEIm]での評価が0.9以下である。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)を用いている。また建物は鉄骨造とし、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる。また化学物質排出把握管理促進	LR3 敷地外環境 建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮をしている。また駐車場はお客様用として、適切な量の駐車スペースの確保し、管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設も別に確保している。駐車場の導入路(出入り口など)の位置や形状・数への

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される